

■ 教育目的

5年次に行われる病院実務実習・薬局実務実習に先立って、大学内で調剤、無菌操作、患者応対、情報提供などの薬剤師職務に必要な基本的知識、技能、態度を修得する。【卒業認定・学位授与の方針：YD-①～④】

■ 学習到達目標

1. 医療チームの一員として、病院・薬局における薬剤師業務の概要と社会的使命を理解し行動する。(知識・技能・態度)
2. 処方箋受付から服薬指導までの基本的な流れを修得し、調剤を正確に実践する。(知識・技能・態度)
3. 処方箋上の用法・用量、禁忌、相互作用などを含む調剤上注意すべき基本的事項を修得し、確実な処方監査を実践する。(知識・技能・態度)
4. 医薬品の管理と供給に関する基本的知識と技能を修得し、正しい取扱いを実践する。(知識・技能・態度)
5. 薬剤師業務が人命にかかわる仕事であることを認識し、医薬品の基本的な副作用、調剤上の危険因子とその対策、院内感染などに関する知識、技能を修得し、患者が被る危険を回避する。(知識・技能・態度)
6. 患者応対、情報提供に関する基本的知識、技能、態度を修得し、患者の安全確保とQOL向上に貢献する。(知識・技能・態度)
7. 病院・薬局における一連の業務を総合的に実習することにより、病院実務実習、薬局実務実習の効果を高める。(知識・技能・態度)

■ 準備学習（予習・復習）

予習：事前実務実習・実習書の該当部分に事前に目を通しておくこと。(30分以上)

復習：実習及び指導を受けた内容を振り返り、確認すること。不明箇所は指導教員に質問すること。(30分以上)

■ 授業内容

実習

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	前期事前実務実習	オリエンテーション 情報収集・情報提供 調剤 無菌調製 プライマリーケア・セルフメディケーション	F(1)-②-1～3, ③-1,2 F(2)-②-1～6, ③-1～8, ④-1～8, ⑥-5 F(3)-①-1～4, ②-1, ④-1～3 F(5)-①-1～3, ③-1～4
2	後期事前実務実習	オリエンテーション 薬局総合 病棟総合 在宅総合 無菌総合	F(1)-②-1～3, ③-1,2 F(2)-②-1～6, ③-1～8, ④-1～8, ⑥-5 F(3)-①-1～4, ②-1, ④-1～3 F(5)-①-1～3, ③-1～4

■ 授業分担者

大野 恵子(前期責任者)、山崎 紀子(後期責任者)、石川 洋一、石橋 賢一、植沢 芳広、榎山 暁史、佐藤 光利、高橋 晴美、花田 和彦、廣瀬 誠、池上 洋二、菅野 敦之、佐野 和美、安 武夫、斎坂 ゆかり、田中 靖子、松本 邦洋、宮沢 伸介、宮嶋 篤志、小関 珠美、鈴木 陽介、高橋 雅弘、永井 純子、高島 勇基、山田 聖子、学外講師

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

フィードバックは指導教員が随時行う。出席状況、実習中の態度を含めて、ルーブリック評価（100%）で総合的に判定する。

■ 参考書

『実務実習事前学習テキスト』 土屋 編集（ネオメディカル）

『グラフィックガイド 薬剤師の技能 理論まるごと実践へ』 高田 編集（京都廣川書店）

『治療薬マニュアル』 高久、矢崎 監修（医学書院）、『今日の治療薬』 浦部、島田、川合 編集（南江堂）

■ その他

事前実務実習では、前期で学んだ内容を後期に総合実習として行う。実習は、本学で作成したルーブリック評価基準における該当項目がレベル2以上となるまで繰り返し実習する。